石垣島黒毛和牛(JA 石垣牛)にこだわるポイント

石垣島を含む八重山諸島群は、農畜産業で生計を立てている方々が50%前後といわれ、 その畜産事業も黒毛和牛の繁殖がほとんどであります。

石垣島はマイアミやハワイと同じ北緯 24 度に位置し、温暖でありながらも湿度は低く 風抜けが良い地域性であることから、温暖な地域を好む和牛繁殖環境に適しており、その温 暖な環境は肉質にも大きな影響を与え、肉質は脂身が多過ぎないさっぱりしたものとなり、 それとともに甘味のある風味豊かな味わいに仕上がるといわれております。

島では水量も豊富なことから牧草の生え替わりが年 4~5回と(米は三期作)粗飼料の確保ができること、そしてミネラルとカルシュウムを豊富に含んだ水質で育つ牧草と牛に与える飲み水が、繁殖・育成に対し病気に強く胃袋を大きく作れることから、全国より肥育農家さんが仔牛を買付に石垣島に来られます。

肥育牛に於いては若干頭数ではありますが行われており、畜産比率では八重山諸島 (石垣島・黒島・竹富島・小浜島・新城島・西表島・波照間島・与那国島) において 全体頭数 35,000 頭強、年間仔牛出荷頭数 10,000 頭前後、年間経産出荷頭数 700 頭前後、 年間出荷肥育牛(銘柄 JA 石垣牛) 700 頭弱、その他肥育牛は 150 頭前後です。

石垣島で肥育牛を作ることは経済的に負担が大きく、もちろん仔牛市場で仔牛を購入し 20 ヶ月肥育することは市場購入額が高額であるため、所有の草地での一貫生産による肥育 牛であります。(一貫生産とは繁殖から出荷までの肥育を約30ヶ月おこなうこと)

その**銘柄 JA 石垣牛**年間 700 頭弱の出荷はありますが、500 頭前後が一般肥育部会員 (約 22 名)で、200 頭前後が **JA 八重山肥育センター**により肥育し出荷を支えております。 そして一般肥育部会員として弊社の **JA** 石垣牛の年間出荷頭数は約 120 頭弱であり、現在・肥育牛 270 頭、繁殖牛約 80 頭、育成牛 35 頭の総数約 385 頭を保有しております。

JA石垣牛は2000年7月に行われた九州・沖縄サミットに於いて晩餐会のメインディッシュとして供され、各国首脳から絶賛されたことから知名度を上げ始めました。

その理由に日本の霜降り牛は世界に於いて芸術と称されてはおりますが、家畜改良事業 団により血統を改良されていくことで、肥育農家さん達の技術無くしても霜降り牛が生産 される様になりました。

そうなると次に肥育農家さん達は個々に濃厚飼料の改良で肉の甘さを作ることに専念し始めましたが、競う結果、霜と背の脂質に含む糖度が高く融点は低く美味しさを増した感はありますが、量を食べるには甘さが口に残りしつこく飽きてしまう味になっている状況下、JA 石垣牛は移動ストレスがなく上記で述べたミネラル・カルシュウムを多く含んだ水質で従来の肥育方法で育て上げた黒毛和牛は、見て芸術を楽しみ、食べて脂質はしつこくなく、柔らかいことが九州・沖縄サミットで称賛を得た理由と思われます。

JA 石垣牛は週に約 14 頭、月に約 55 頭、年に約 680 頭しか出荷されず、石垣島内での消費が 80%、残り 20%が沖縄本島での消費とされていますが、弊社はその希少価値と美味しさを提供するために、石垣島で一貫肥育事業を展開し始めました。

そして弊社と連携しJA 石垣牛の価値観を共有・販売して頂ける事業主様に、多くを提供することはまだまだ時間がかかるとは思いますが、黒毛和牛を愛し、価値観をともに導いて頂ける販売事業主様にJA 石垣牛の提供を最善尽くしていきたいと思います。

最後に、

20

「従来牛肉は、すき焼き・焼肉など甘目のタレ等を使用し食して参りましたが、牛肉自体を甘く仕上げすぎたことで、従来の調理方法で食すると、糖質を上げた脂質はしつこくなり量を食せなくなることを今後考えるべきだと思います。」

株式会社ニイチク

							明細計	4. 4	
黒毛和種 国産牛ナカニク									
116-138247 黒毛和種 国産牛ナカニク		10. 5						10.5	沖縄県
							明細計	10. 5	
黒毛和種 国産牛サーロイン 116-138819左 黒毛和種 国産牛サーロイン		13.8						13. 8	沖縄県
	•	10.0					明細計	13. 8	71 111671
	1445891475		2016/06/06		2016/07/21				
						,			
	1420242179		2016/06/20		2016/08/03				



すき焼 日本料理 坂 稿 ハ王子市横山町6-10 電話042(642)0545番